



# HIGASHI TIME

2月号

令和7年2月27日 発行:座間市立東中学校 校長 大沢奈緒美

\*学校日より「HIGASHI TIME」は、本校ホームページにカラーにて掲載しています

冬型の気圧配置が強まり、急に寒くなったかと思うと、温かくなったりと三寒四温を繰り返しながら春が近づいてまいりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。学校では、学年末テストが終わり、それぞれの学年がまとめの時期に入ります。

そこで、昨日26日(水)は、1, 2年生の保護者会がありました。この1年間の成長の様子と次年度に向けての教育活動についてお話をさせていただきました。ご出席ありがとうございました。

そして、3年生は、3月12日の卒業式を目前に控え、新たな進路先に向けて旅立つ準備期間となります。卒業式後に最後の学活があります。どうぞこちらも、一緒にご参観ください

## 小学6年生一日入学

2月10日(月)本校を学区とする「ひばりが丘小」「旭小」「東原小」の6年生が、学校見学に来校しました。

校舎内を見学したあと、生徒会本部役員が中学校生活におけるルールについて寸劇を交えて説明をし、最後は、1学年に登場してもらい、学年合唱曲「COSMOS」を披露しました。

児童たちは最後まで真剣に聴いてくれていました。今年の入学式は4月7日(月)となります。



授業見学



生徒会本部役員による学校紹介



1学年合唱披露

## 座間市中学校特別支援学級合同「卒業を祝う会」

2月4日(火)座間市立市民体育館大体育室にて、座間市内中学校の特別支援学級生徒全員が集まり、一足早い「卒業を祝う会」を実施いたしました。

最初のレクリエーションでは、ボール送りや、ドッジビーなど、各校の生徒がそれぞれ3つのチームにわかれ、仲間の声援を受けながら、熱戦を繰り広げていました。

そして、お別れ会では、3年生が前に出て、卒業後の進路先の報告や在校生に向けてメッセージを送ってくれました。

本校の3名の3年生も一人一人、堂々とこれまでの思い出を語ってくれました。最後は在校生から3年生へのプレゼントがあり、プレゼントを見せてもらうと、どれも素敵な手作り作品でした。



### 3 学年 防災教室「避難所開設訓練」

本校の体育館は「ひばりが丘二丁目自治会」の避難所となっており、毎年11月頃に「避難所開設運営訓練」が行われています。そこで、今年度初の試みとして、万が一、避難所への避難となったときに『地域の人と共に、手助けができるようになって欲しい。』という願いからひばりが丘二丁目自治会の方々のご協力のもと「避難所開設訓練」を実施いたしました。

内容は、本校にある①「防災設備見学」、日産の協力を得て②「電気自動車による非常用電源見学」危機管理課より③「簡易テント組立」④「仮設トイレ組立」⑤「α米体験」でした。実際の体験は初めての生徒も多く、やがて、地域に貢献できる大人となるために良い機会になったと思います。

その他の写真は  
本校HPにも  
掲載しています



左から①「防災設備見学」

③「仮設テント組立」

④「仮設トイレ組立」

3月の主な行事予定 (最終下校17:30)			45
※ 1,2年生は昼食が3月24日(月)まであります			
1日	(土)	PTA 本部役員会・運営委員会 新旧役員顔合わせ	
3日	(月)	3年レク大会(雨天時5日と入替)	
4日	(火)	③④3年薬物乱用防止教室 ⑥1,2年式練習	
5日	(水)	3年お楽しみ会	
6日	(木)	金曜授業・卒業式予行準備 3年環境整備 《部活動なし》	○
7日	(金)	卒業式予行練習 (卒業生とのお別れ会) 木④⑤	○
10日	(月)	①②3年卒業式練習 ⑥2年卒業式練習	○
11日	(火)	卒業式前日準備13:30~ 《部活動なし》	
12日	(水)	第53回 卒業式(8:30受付、9時開始) 1学年自宅学習、2年式後自宅学習(~15時まで)	
13日	(木)		○
14日	(金)	5校時まで [諸活動停止:最終下校14:30]	○
17日	(月)	午前日課 ③④2年進路講話会 [一般下校14:05]	
18日	(火)	午前日課 学校運営協議会 [一般下校14:10]	
19日	(水)	午前日課 1年球技大会 2年理科 CBT 練習 [一般下校13:50]	
20日	(木)	春分の日	
21日	(金)	午前日課 2年球技大会 学校運営協議会 [一般下校13:50]	○
24日	(月)	午前日課 ①②学年末集会 ③生徒総会 ④ 大掃除 [一般下校13:40]	
25日	(火)	修了式 離任式(生徒・教職員・関係者のみ) [諸活動停止:最終下校12:45予定]	
26日	(水)	~4月6日(日)まで、年度末休業期間	

【編集後記】以前、埼玉県にあります秩父神社に訪れた際に「親の心得」という立札を見つけました。

「赤子には肌を離すな」

「幼児には手を離すな」

「子どもには眼を離すな」

「若者には心を離すな」

これは、子どもの成長に合わせた親の関わり方を表した言葉です。中学生は「子ども」から「若者」に変化する時期にあたり、大人になるための自分探しを始め、親から自立したいという思いと自立に対する不安が入り混じっているとされています。それは、まるで迷路に迷い込んだように、言動や行動が矛盾だらけで、気が付くと、親はそれに振り回されていたりします。そんな時は、迷路と一緒に、はまるのではなく「手」を離してわが子を迷路の見える高台から見てあげてください。「頑張っているな」とわが子の素晴らしさに感心しつつ、もし、子どもから「助けて」のサインが出たときに、見逃さないために「眼」や「心」を離さず、その時は、手を差し伸べてあげてください。

昔、私もこの仕事を続けながらの子育てに悩んだことがあります。その時、先輩先生から「あなた自身が自分の人生をしっかりと生きているという姿、困った状況になっても乗り越えようともがいている姿を正直に見せればいい。」と言われました。今、その言葉を悩んでいる後輩に伝えています。